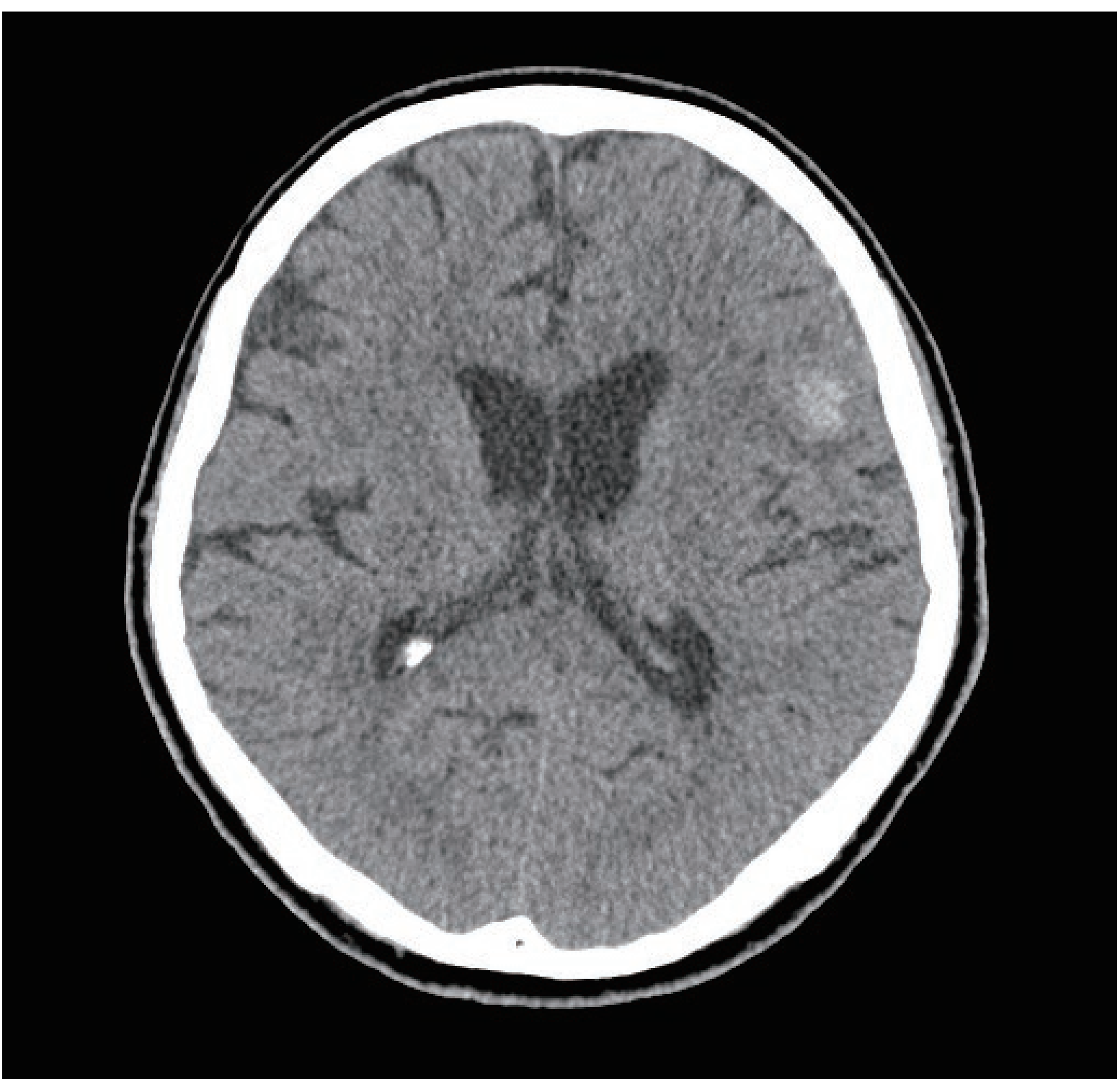


症例紹介

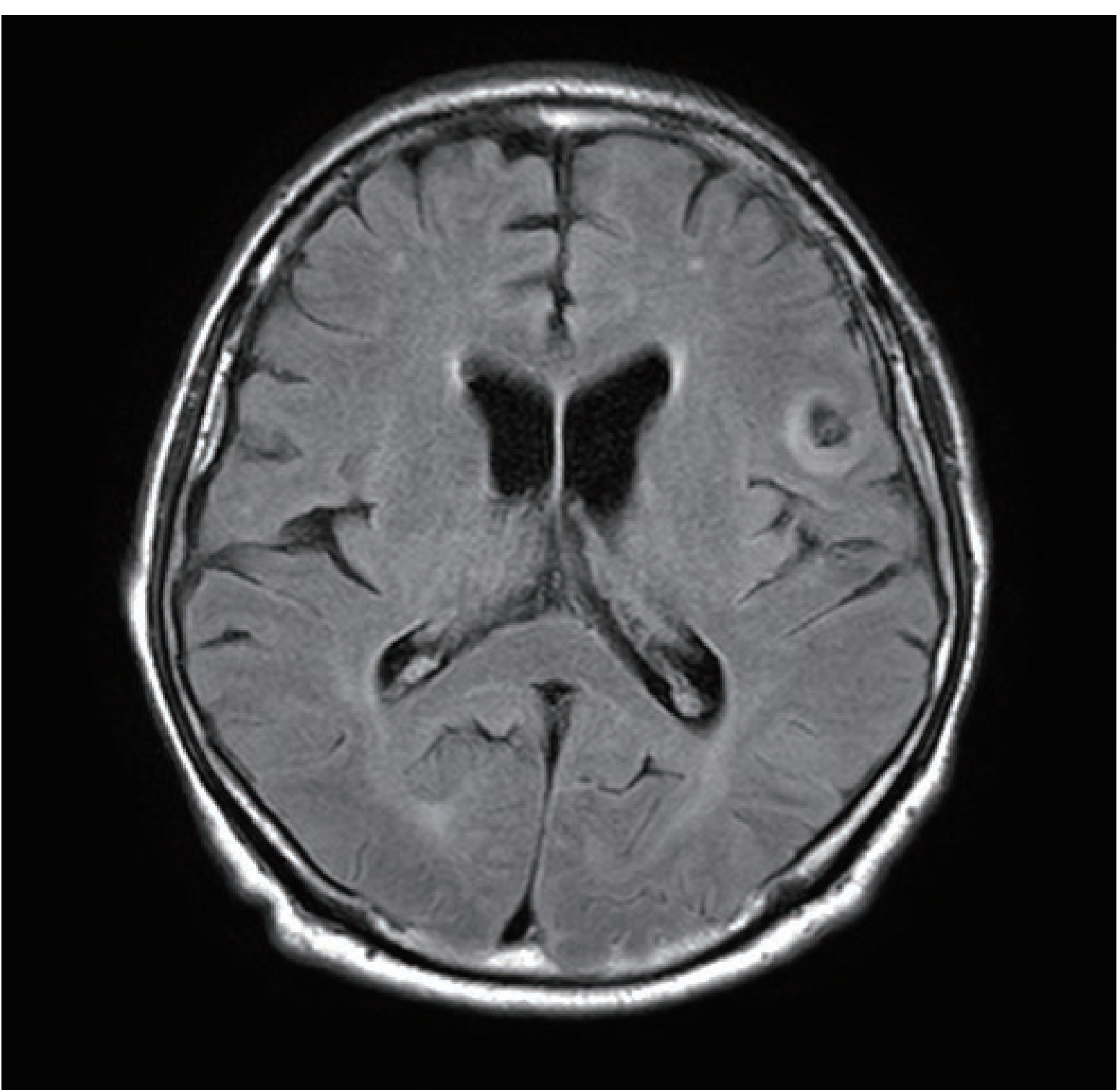
左中大脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血

■ 症例背景とMRI検査の目的

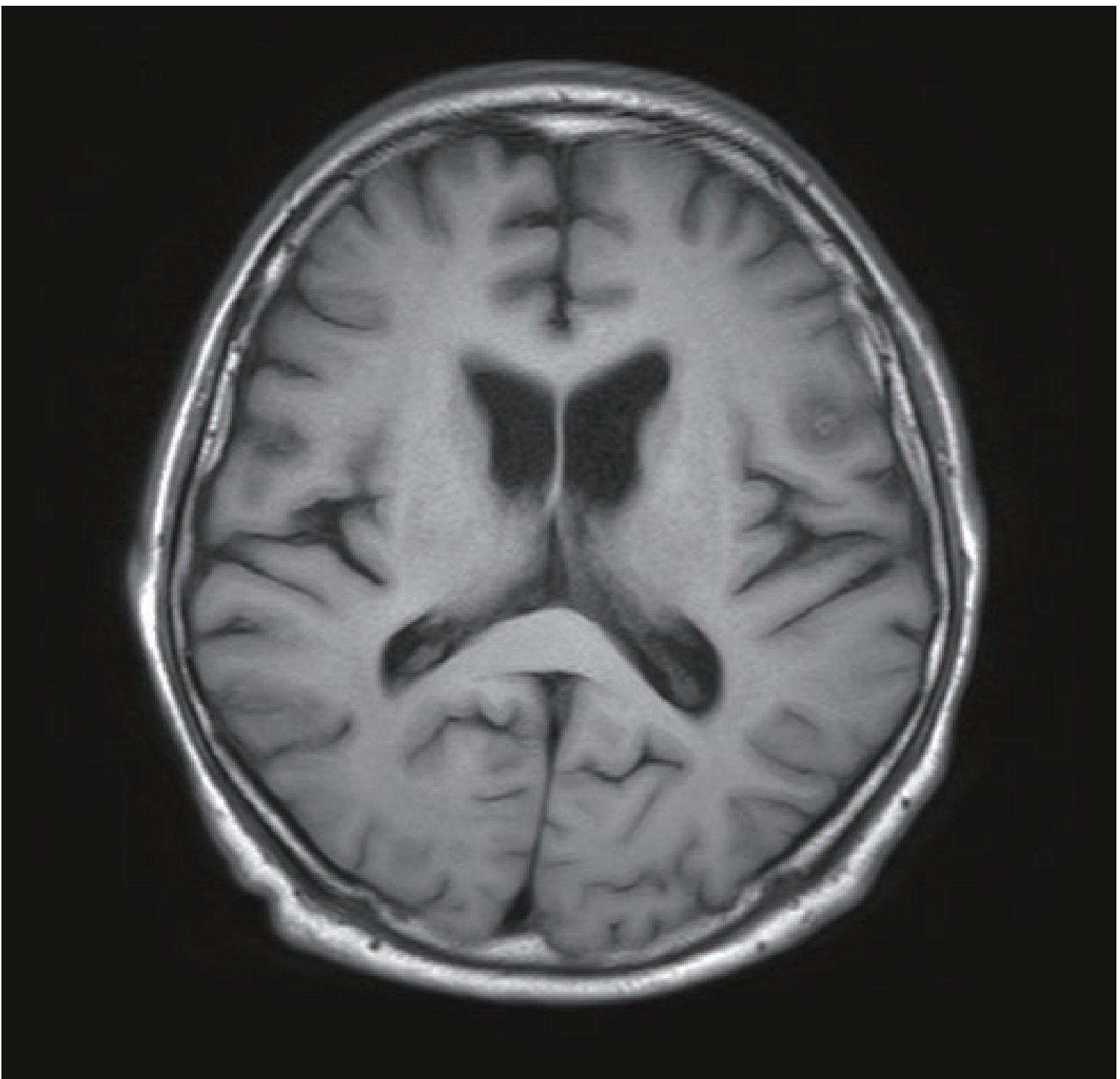
60代 男性。
既往歴：虫垂炎・肝腫瘍・胆管悪性腫瘍
朝から続く頭痛があり、頭部CTにて左前頭葉部分に高信号領域がみられた。
脳腫瘍除外のため造影MRIにて精査を行った。



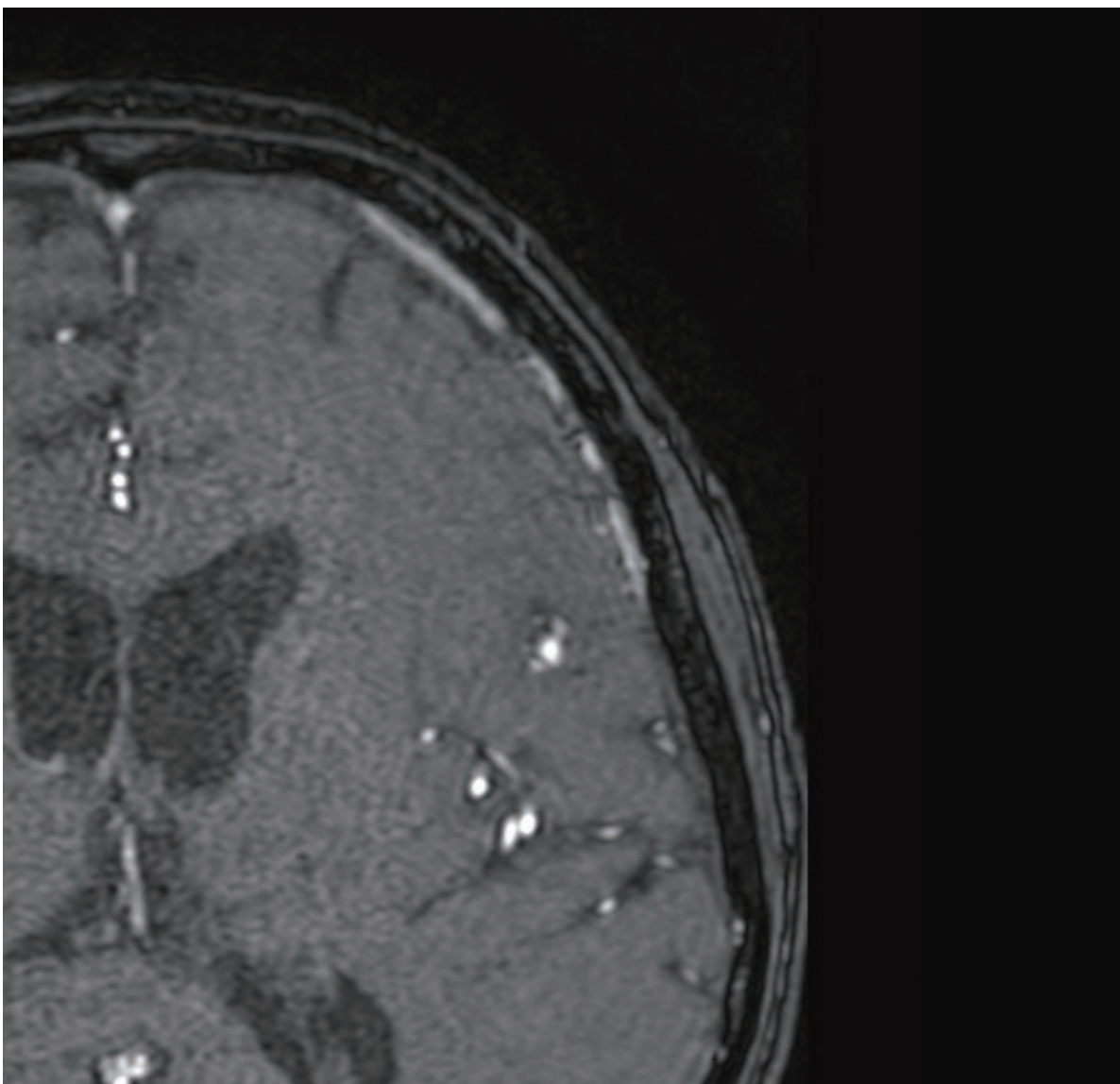
CT



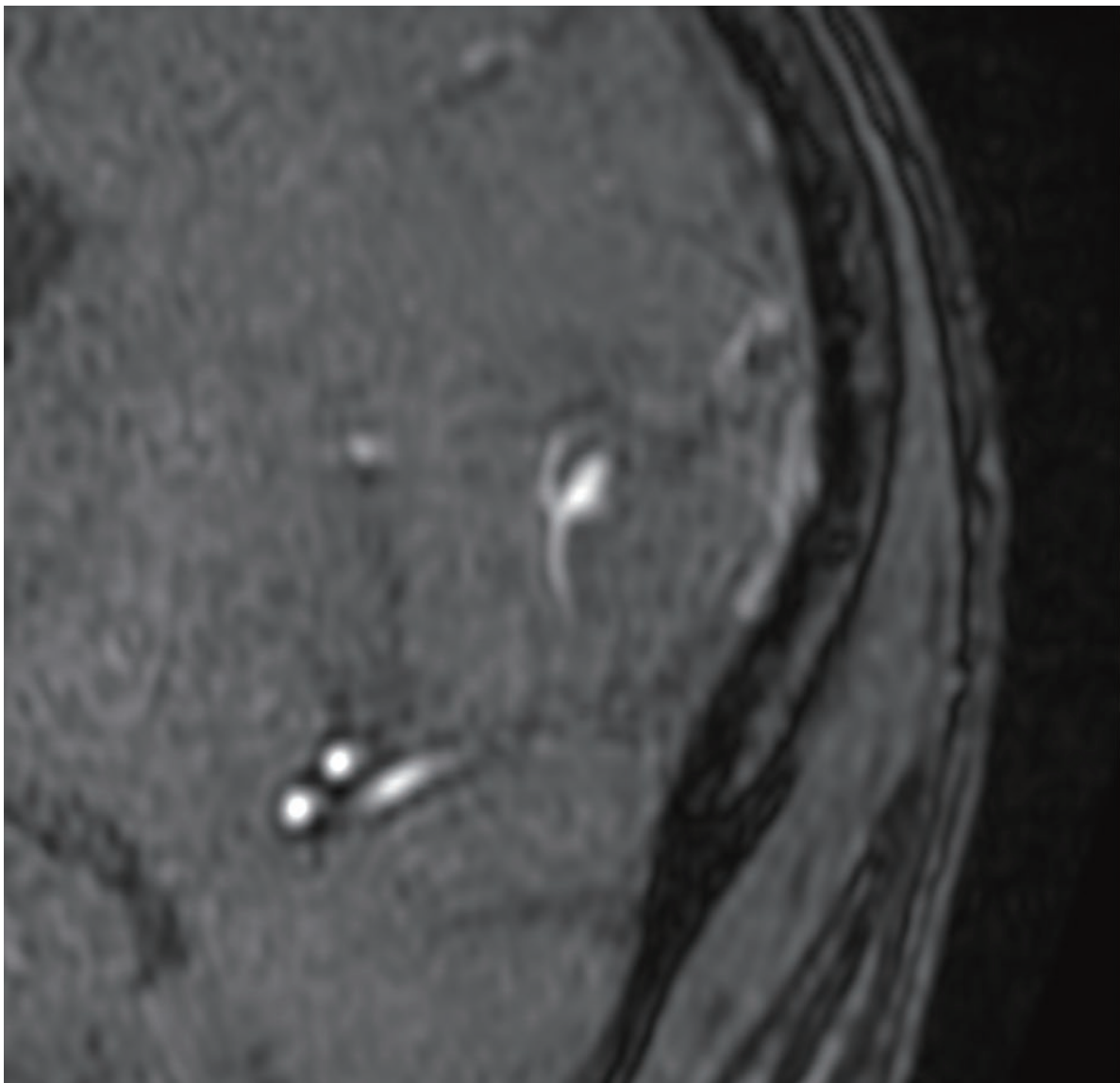
2D-TSE-FLAIR



2D-TSE-T1WI



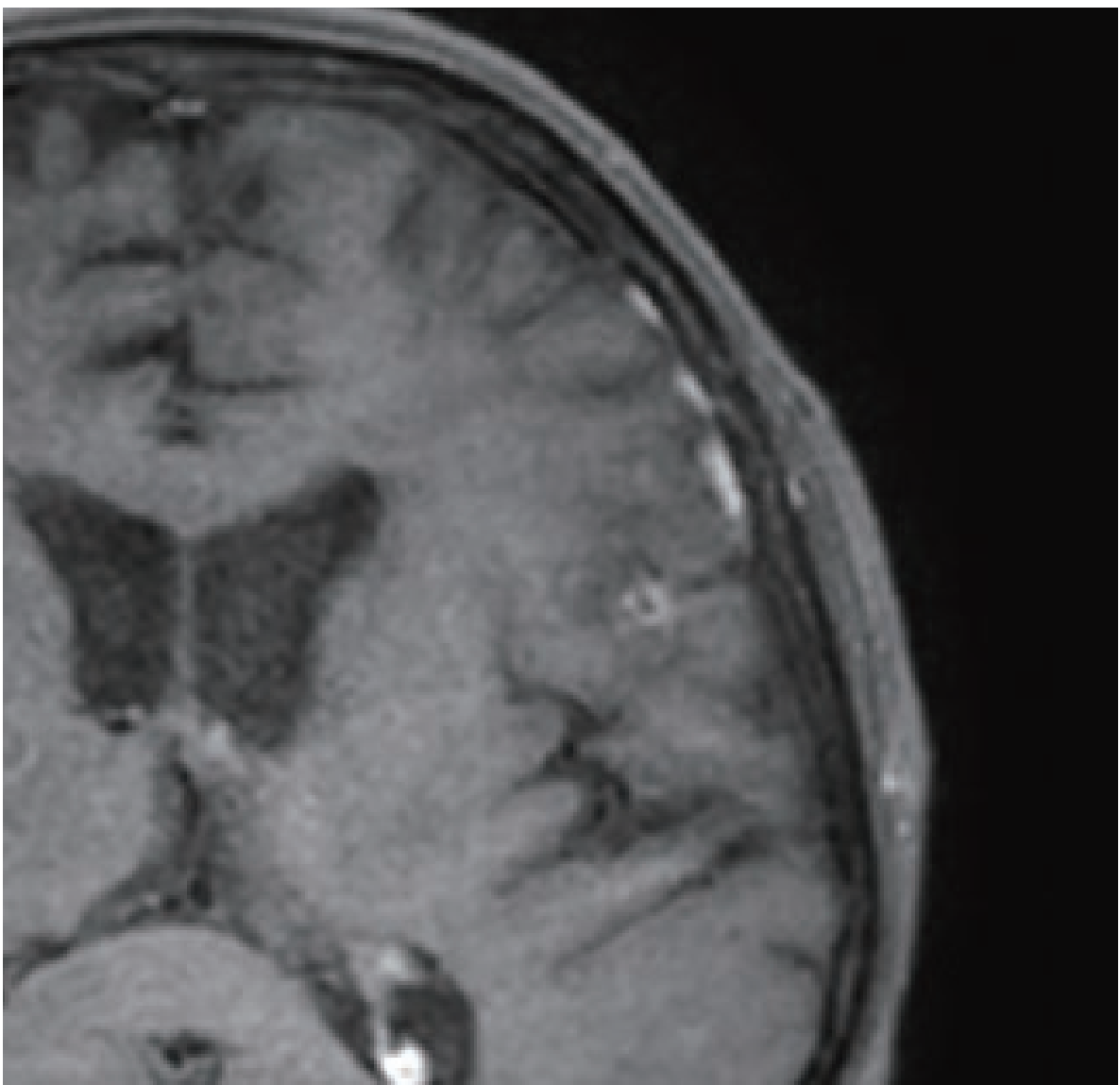
TOF-MRA



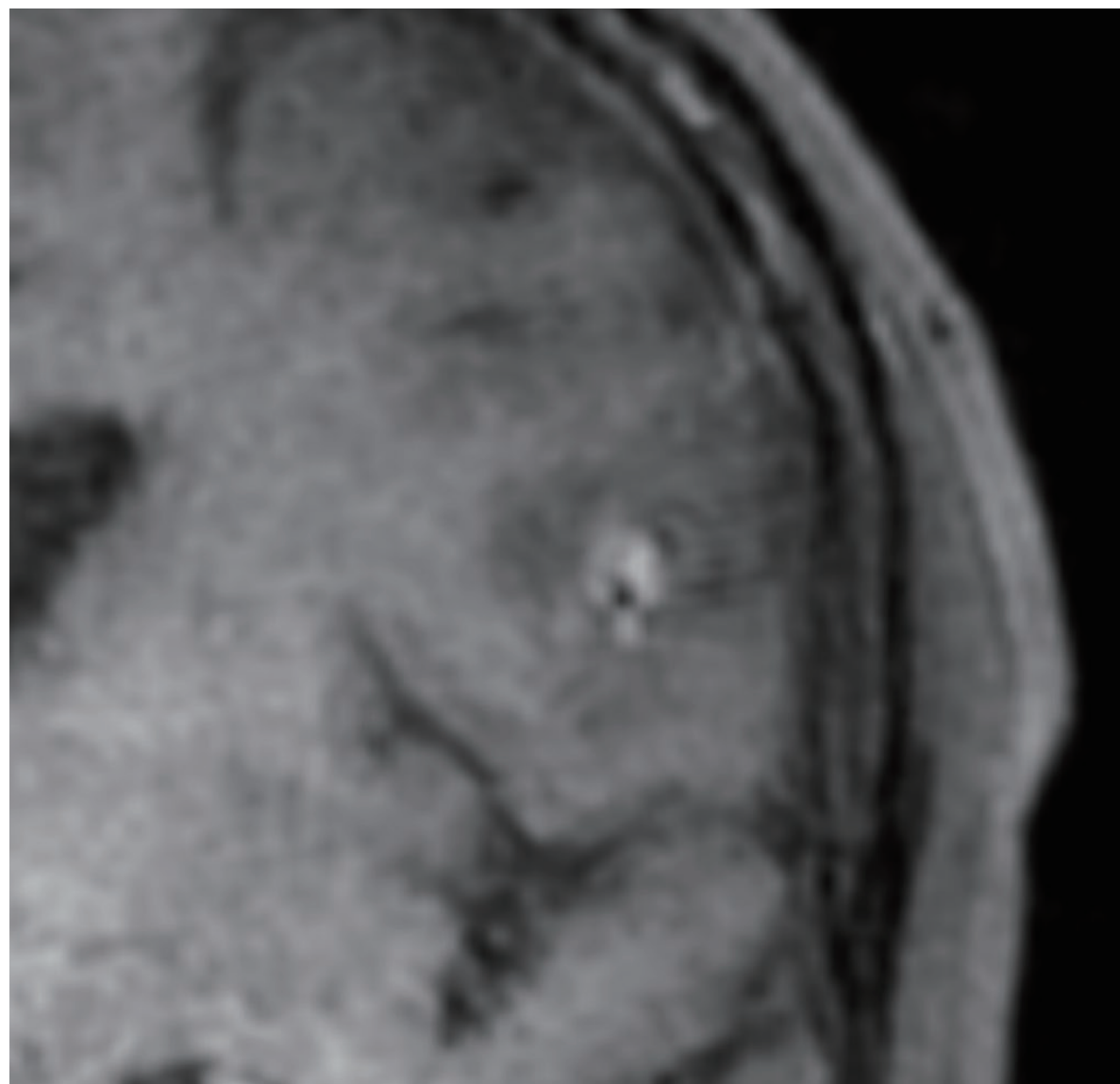
TOF-MRA



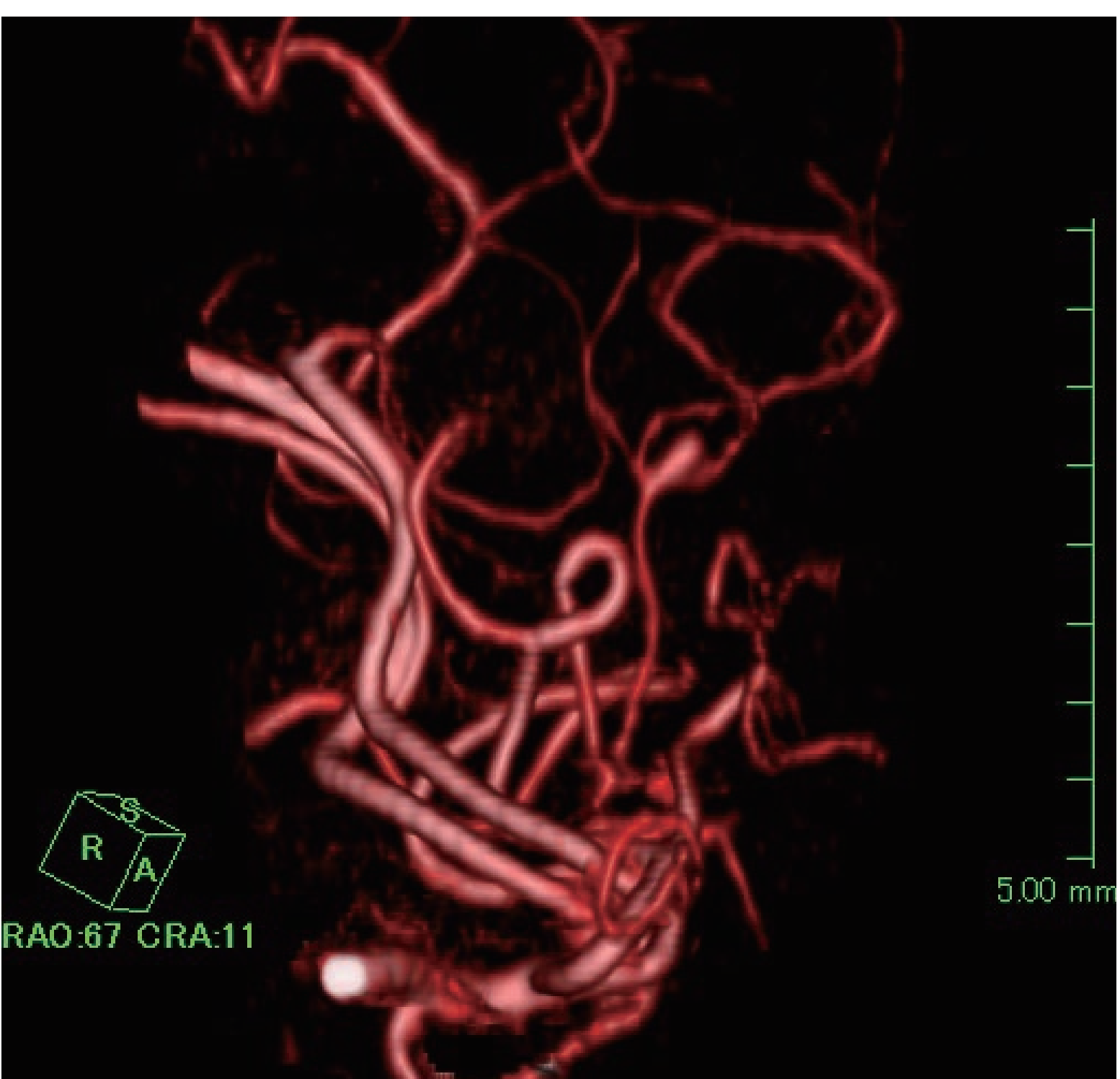
2D-TSE-T1WI-Gd



3D-TSE-T1WI-FS-Gd



3D-TSE-T1WI-FS-Gd



TOF-MRA-VR

■ まとめ

動脈瘤と病変部分が一致していたため、造影後に、脂肪抑制を加えた3D TSE T1WIのFlow void 効果を利用したVessel wall imaging を追加撮像した。
出血が少ない場合などは血管壁の増強効果を確認することで、脳動脈瘤破裂部位の同定に役立てることができる。